

勤労者フットサル大会実施要項（案）

- 1 日 時 令和7年12月21日（日）
午前8時50分 までに集合
午前9時00分 から開会式（時間厳守）多目的広場にて
- 2 会 場 中巨摩広域事務組合 勤労青年センター
フットサルコート（中央市一町畑1189）
- 3 チーム数 16チーム
- 4 参加資格 （1）市内に住所を有する事業所内で編成するチーム。
（2）市内の事業所に勤務する勤労者又は、市内在住の勤労者で編成
するチーム
- 5 参加費 無料
- 6 競技方法 Aクラスはリーグ戦
Bクラスは参加チームを2つに分けての予選リーグ戦を実施し、各リーグ
の1位同士による決定戦（プレーオフ）により順位を決定する。
- 7 競技規則 日本サッカー協会フットサル競技規則及び大会競技規則による。
- 8 大会規則 別紙
- 9 表 彰 各クラスの優勝チームには、賞状及び副賞、準優勝チームには賞状を授与
する。試合終了後、表彰式・閉会式を行う。
- 10 その他 申込時より参加者等の変更がある場合は、代表者会議終了後に変更届を提
出すること。競技当日、参加者の変更がある場合も変更届を提出すること。

フットサル競技規則・大会規則**【大会規則】**

- ・競技に参加できる者は、監督兼選手を含めて10名以内です。
- ・女性の参加(出場)を可とし、交代の回数は制限しません。
- ・予選リーグでは、
 - ①勝点(勝3点、引分1点、負0点) ②得失点差 ③総得点
 - ④対戦勝敗の順で比較し、順位を決定します。
- ・チームのユニホームは、上着が同種同色の統一とします。※実行委員会でビブス等は用意できません
- ・大会は、レガース「すね当て」を必ず着用してください。
- ・靴は専用シューズ、その他運動靴をお願いします(スパイクは禁止です)。
- ・ピアス、ネックレス、指輪等のアクセサリーは危険防止のため、“はずす”か“テーピングでとめる”の措置を行ってください。
- ・メガネを着用してのプレーは原則禁止とします。ただし「フットサルに適したもの」として販売されている眼鏡については、参加を認める場合があります。
- ・ゴールキーパーは、手袋の着用をお願いします。
- ・試合時間は 7分－3分(ハーフタイム)－7分のランニングタイムで行います。
- ・予選リーグ、プレーオフともに延長戦は行いません。
- ・決勝戦のみ同点の場合はPK戦(3人)を行います。
- ・前後半をとおして、タイムアウトはありません。
- ・ハーフタイム(インターバル)が3分のため、ベンチの移動は行いません。
- ・試合と試合の間が3分となっています 次の試合のチームは、当該試合の開始5分前にはコートへ集合をお願いします。
- ・女性プレーヤー優遇ルールとして、女性の得点は2点とします。
- ・審判は各チームに主審・副審をお願いします。また記録係も2名体制とします。
審判は、参加チームによる自主運営となりますので、審判担当チーム(2チーム)は、審判要員(審判もしくは記録係)の選出にご協力ください。

【競技規則】

日本サッカー協会フットサル競技規則及び大会競技規則による。

◆競技者数と交代

- ・ピッチ内は1チーム5人、うち1人はGK
- ・選手はインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、交代ゾーンから自由に交代できる（GKを含む）

※GKはピッチ内の選手とは交代できない 交代する場合は、試合停止中に主審にその旨を通知しなければならない。

※交代する場合は交代ゾーンからピッチ内の選手が完全に出てから交代選手が入ったときに完了する。

◆キックイン

- ・ボールがタッチラインを越えたときは、競技は“キックイン”で再開する

※ボールはライン上またはピッチ外の25cm以内の地点に「手」で静止させて行う

※キックインが行われる際、相手側の選手は速やかに5m離れること

◆コーナーキック

- ・味方選手が触れたボールが自陣のゴールラインを割った場合、“コーナーキック”で再開する

※ボールをコーナーアークに静止させて行う

※コーナーキックが行われる際、相手側の選手は速やかに5m離れること

◆ゴールクリアランス

- ・相手選手が触れたボールが自陣のゴールラインを割った場合、“ゴールクリアランス（GKのスロー）”で再開する

※インプレー中、GKがボールを離した後は、相手が触れる前に味方からボールを受けてはならない

※GKに対して、味方選手が意図的に足で蹴ったボールに手を触れてはならない

◆4秒ルール

- ・“キックイン”“コーナーキック”“ゴールクリアランス”“直接・間接フリーキック”は、ボールを保持し、蹴れる状態から4秒以内に行わなければならない

⇒今大会においては適用しませんが、遅延行為とならないようご注意ください

◆反則 不正行為

- ・スライディングタックル、ショルダーチャージは不用意に、無謀に、過剰な力を用いて行わない限り、可能である

⇒今大会においては、スライディングタックルは禁止とする（GKのスライディングキャッチは認める）

ショルダーチャージについても、無謀な過剰な力を用いて行った場合は、反則行為とする

◆キックオフからシュート等

・キックオフ、キックインからは、ボールが直接相手競技者のゴールに入った場合、ゴールクリアランスが与えられる

⇒今大会においても適用しますが、直接ゴールすることは認められません
(キックオフ、キックインからのシュートは危険です)

◆反スポーツ的行為、暴言

・反スポーツ的行為、相手競技者や審判への暴言や行動による抗議など、著しく不正なプレーまたは乱暴なプレーをした競技者は警告・退場処分となります

“リスペクト”精神があふれるプレーができるよう心がけましょう
みんなが楽しくおもしろい大会にしましょう

